

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公表番号】特表2001-525172(P2001-525172A)

【公表日】平成13年12月11日(2001.12.11)

【出願番号】特願2000-523343(P2000-523343)

【国際特許分類】

| | | |
|--------|-------|-----------|
| C 12 N | 15/09 | (2006.01) |
| C 07 K | 14/47 | (2006.01) |
| C 07 K | 16/18 | (2006.01) |
| C 07 K | 19/00 | (2006.01) |
| C 12 N | 1/15 | (2006.01) |
| C 12 N | 1/19 | (2006.01) |
| C 12 N | 1/21 | (2006.01) |
| C 12 P | 21/02 | (2006.01) |
| C 12 P | 21/08 | (2006.01) |
| G 01 N | 33/15 | (2006.01) |
| G 01 N | 33/50 | (2006.01) |
| C 12 N | 5/10 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|--------|-------|---------|
| C 12 N | 15/00 | Z N A A |
| C 07 K | 14/47 | |
| C 07 K | 16/18 | |
| C 07 K | 19/00 | |
| C 12 N | 1/15 | |
| C 12 N | 1/19 | |
| C 12 N | 1/21 | |
| C 12 P | 21/02 | C |
| C 12 P | 21/08 | |
| G 01 N | 33/15 | Z |
| G 01 N | 33/50 | Z |
| C 12 N | 5/00 | A |

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月5日(2005.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】以下よりなる群から選択されるアミノ酸配列と少なくとも90%同一であるアミノ酸残基の配列を含むポリペプチドをコードする単離されたポリヌクレオチド：

(a)配列番号2に示すアミノ酸番号47(Lys)からアミノ酸番号114(Asp)までのアミノ酸配列；

(b)配列番号4に示すアミノ酸番号1(Met)からアミノ酸番号85(Asp)までのアミノ酸配列；

(c)配列番号3に示すアミノ酸番号1(Met)からアミノ酸番号89(Asp)までのアミ

ノ酸配列；

(d) 配列番号2に示すアミノ酸残基番号1(Met)からアミノ酸残基番号114(Asp)までのアミノ酸配列。

【請求項2】以下よりなる群から選択される単離されたポリヌクレオチド分子：

(a) 配列番号1に示すヌクレオチド219からヌクレオチド422までのヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチド分子；

(b) 配列番号1に示すヌクレオチド168からヌクレオチド422までのヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチド分子；

(c) 配列番号1に示すヌクレオチド156からヌクレオチド422までのヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチド分子；

(d) 配列番号1に示すヌクレオチド82からヌクレオチド422までのヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチド分子；および

(e) 上記(a)、(b)、(c)または(d)に相補的なポリヌクレオチド分子。

【請求項3】配列番号15のヌクレオチド1からヌクレオチド342を含む、請求項1記載の単離されたポリヌクレオチド配列。

【請求項4】前期ポリペプチドが以下よりなる群から選択されるアミノ酸配列：

(a) 配列番号2に示すアミノ酸番号47(Lys)からアミノ酸番号114(Asp)までのアミノ酸配列；

(b) 配列番号4に示すアミノ酸番号1(Met)からアミノ酸番号85(Asp)までのアミノ酸配列；

(c) 配列番号3に示すアミノ酸番号1(Met)からアミノ酸番号89(Asp)までのアミノ酸配列；

(d) 配列番号2に示すアミノ酸残基番号1(Met)からアミノ酸残基番号114(Asp)までのアミノ酸配列；

を有する、請求項1に記載のポリヌクレオチド。

【請求項5】前記ポリペプチドが、配列番号2に示すアミノ酸番号47(Lys)からアミノ酸番号114(Asp)までのアミノ酸残基の配列からなる、請求項1記載の単離されたポリヌクレオチド。

【請求項6】前記ポリペプチドがモチーフ1～5を含有し、モチーフ1が配列番号2のアミノ酸50～56に対応するアミノ酸の配列であり、モチーフ2が配列番号2のアミノ酸61～66に対応するアミノ酸の配列であり、モチーフ3が配列番号2のアミノ酸71～76に対応するアミノ酸の配列であり、モチーフ4が配列番号2のアミノ酸87～92に対応するアミノ酸の配列であり、そしてモチーフ5が配列番号2のアミノ酸95～100に対応するアミノ酸の配列である、請求項1記載の単離されたポリヌクレオチド。

【請求項7】以下の機能的に結合した成分を含んでなる発現ベクター：

転写プロモーター；

配列番号2に示すアミノ酸番号47(Lys)からアミノ酸番号114(Asp)までのアミノ酸配列と90%同一である、zsig45ポリペプチドをコードするDNAセグメント；および

転写ターミネーター。

【請求項8】前記DNAセグメントに作用可能に連結された分泌シグナル配列をさらに含む、請求項7記載の発現ベクター。

【請求項9】前記分泌シグナル配列が、

(a) 配列番号2のアミノ酸1～46；

(b) 配列番号3のアミノ酸1～21；および

(c) 配列番号4のアミノ酸1～17；

からなる群から選択されるアミノ酸配列をコードする請求項8記載の発現ベクター。

【請求項10】前記DNAセグメントによりコードされるポリペプチドを発現する、請求項7記載の発現ベクターが導入された培養細胞。

【請求項11】融合蛋白質をコードするDNA構成体であって、

(a) 配列番号2のアミノ酸1～46；

(b) 配列番号 3 のアミノ酸 1 ~ 21 ; および

(c) 配列番号 4 のアミノ酸 1 ~ 17 ;

よりなる群から選択されるアミノ酸の配列と少なくとも 90% 同一であるポリペプチドをコードする第 1 の DNA セグメント ; 並びに

追加のポリペプチドをコードする第 2 の DNA セグメント ;

を含んでなり、前記第 1 の DNA セグメントと第 2 の DNA セグメントがフレーム内で連結している、

融合蛋白質をコードする DNA 構成体。

【請求項 12】 以下よりなる群から選択されるアミノ酸配列と少なくとも 90% 同一であるアミノ酸残基の配列を含む単離されたポリペプチド :

(a) 配列番号 2 に示すアミノ酸番号 47 (Lys) からアミノ酸番号 114 (Asp) までのアミノ酸配列 ;

(b) 配列番号 4 に示すアミノ酸番号 1 (Met) からアミノ酸番号 85 (Asp) までのアミノ酸配列 ;

(c) 配列番号 3 に示すアミノ酸番号 1 (Met) からアミノ酸番号 89 (Asp) までのアミノ酸配列 ;

(d) 配列番号 2 に示すアミノ酸残基番号 1 (Met) からアミノ酸残基番号 114 (Asp) までのアミノ酸配列。

【請求項 13】 以下よりなる群から選択されるアミノ酸配列 :

(a) 配列番号 2 に示すアミノ酸番号 47 (Lys) からアミノ酸番号 114 (Asp) までのアミノ酸配列 ;

(b) 配列番号 4 に示すアミノ酸番号 1 (Met) からアミノ酸番号 85 (Asp) までのアミノ酸配列 ;

(c) 配列番号 3 に示すアミノ酸番号 1 (Met) からアミノ酸番号 89 (Asp) までのアミノ酸配列 ;

(d) 配列番号 2 に示すアミノ酸残基番号 1 (Met) からアミノ酸残基番号 114 (Asp) までのアミノ酸配列 ;

を含む請求項 12 に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 14】 前記アミノ酸残基の配列が、配列番号 2 に示すアミノ酸番号 47 (Lys) からアミノ酸番号 114 (Asp) までのものである、請求項 12 記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 15】 前記アミノ酸残基の配列が、モチーフ 1 ~ 5 を含有し、モチーフ 1 が配列番号 2 のアミノ酸 50 ~ 56 に対応するアミノ酸の配列であり、モチーフ 2 が配列番号 2 のアミノ酸 61 ~ 66 に対応するアミノ酸の配列であり、モチーフ 3 が配列番号 2 のアミノ酸 71 ~ 76 に対応するアミノ酸の配列であり、モチーフ 4 が配列番号 2 のアミノ酸 87 ~ 92 に対応するアミノ酸の配列であり、そしてモチーフ 5 が配列番号 2 のアミノ酸 95 ~ 100 に対応するアミノ酸の配列である、請求項 12 記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 16】 請求項 7 記載の発現ベクターが導入された細胞を培養し、そして細胞により産生された zsig45 ポリペプチドを単離する、

ことを含んでなる、 zsig45 ポリペプチドの製造方法。

【請求項 17】 zsig45 ポリペプチドに対する抗体の製造方法であって、

(a) 配列番号 2 のアミノ酸番号 47 (Lys) からアミノ酸番号 114 (Asp) までの、アミノ酸の連続配列と少なくとも 90% 同一である、 9 ~ 67 アミノ酸からなるポリペプチド ; および

(b) 配列番号 2 のアミノ酸番号 47 (Lys) からアミノ酸番号 114 (Asp) までのアミノ酸配列からなるポリペプチド ;

よりなる群から選択されるポリペプチドであって動物中で免疫応答を誘発して抗体を產生するものを動物に接種し、そして

動物から抗体を単離する、

ことを含んでなる方法。

【請求項 18】 zsig45ポリペプチドに結合する、請求項17記載の方法により產生される抗体。

【請求項 19】 前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項18記載の抗体。

【請求項 20】 請求項12記載のポリペプチドに結合する抗体。

【請求項 21】 被験試料中のzsig45蛋白質活性のアンタゴニストの存在を検出する方法であつて、

zsig45刺激細胞経路に応答性のレポーター遺伝子構成体で、zsig45応答性細胞をトランسفェクトし、

請求項16記載の方法によりzsig45ポリペプチドを产生し、

被験試料の存在下および非存在下で、細胞にzsig45ポリペプチドを添加し、そして

被験試料の存在下および非存在下で、生物学的または生化学的測定法により、zsig45ポリペプチドに対する応答レベルを比較し、そして

この比較から、被験試料中のzsig45活性のアンタゴニストの存在を決定する、ことを含んでなる方法。

【請求項 22】 被験試料中のzsig45蛋白質活性のアゴニストの存在を検出する方法であつて、

zsig45刺激細胞経路に応答性のレポーター遺伝子構成体で、zsig45応答性細胞をトランسفェクトし、

被験試料を添加し、そして

被験試料の存在下および非存在下で、生物学的または生化学的測定法により、応答レベルを比較し、そして

この比較から、被験試料中のzsig45活性のアゴニストの存在を決定する、ことを含んでなる方法。